

2026年3月期 決算概要

テルモ株式会社

Chief Financial Officer

萩本 仁

2026年5月15日



おことわり

テルモの開示資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。様々な要因により、実際の業績等が変動する可能性があることをご承知おきください。実際の業績に影響を与えうる重要な要素には、テルモの事業領域を取り巻く経済情勢、為替レートの変動、競争状況等があります。また、この資料に含まれている製品（開発中のものを含む）に関する情報は、宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。

ハイライト

■ FY25実績

- 売上収益は、四半期、通期実績ともに過去最高を達成
- 北米が牽引し好調な売上が継続、為替影響を除いて+9%の伸長
- 営業利益は、一時費用を計上するも、通期実績では過去最高益を達成

■ FY26業績予想

- 売上収益、営業利益、当期利益は、いずれも過去最高（6期連続の過去最高を目指す）
- 好調なファンダメンタルズを背景とした既存事業の成長に加え、昨年買収したオーガンテクノロジーズ事業[※]の成長が牽引

※2025年に買収を完了したOrganOx社が手掛ける事業の名称を、「オーガンテクノロジーズ事業」に決定

P&L, FCF実績

- 売上収益：北米を中心に、TIS、グローバルブラッドソリューションが牽引
- 営業利益：Q3以降関税影響をフルで受けるも、利益率は前年と同水準を維持

金額（億円）	FY24 Q4累計	FY25 Q4累計	増減率	為替除く増減率	FY24 Q4	FY25 Q4	増減率
売上収益	10,362	11,319	9%	9%	2,639	3,003	14%
売上総利益 (%)	5,607 (54.1%)	5,947 (52.5%)	6%	6%	1,385 (52.5%)	1,490 (49.6%)	8%
一般管理費 (%)	3,074 (29.7%)	3,331 (29.4%)	8%	8%	818 (31.0%)	898 (29.9%)	10%
研究開発費 (%)	742 (7.2%)	769 (6.8%)	4%	4%	188 (7.1%)	251 (8.3%)	33%
その他収益費用	-214	-84	-	-	-138	-28	-
営業利益 (%)	1,577 (15.2%)	1,763 (15.6%)	12%	12%	242 (9.2%)	315 (10.5%)	30%
調整後営業利益 (%)	2,034 (19.6%)	2,194 (19.4%)	8%	8%	441 (16.7%)	459 (15.3%)	4%
税引前利益 (%)	1,546 (14.9%)	1,783 (15.7%)	15%		227 (8.6%)	317 (10.5%)	39%
当期利益 (%)	1,170 (11.3%)	1,359 (12.0%)	16%		184 (7.0%)	264 (8.8%)	44%
フリー・キャッシュ・フロー	1,283	-1,132	-				

期中平均レート(USD/EUR)

153円/164円

151円/175円

153円/161円

157円/184円

一時費用、調整額について

- FY25実績：買収関連費用や、事業ポートフォリオ見直しに関する費用を中心に、488億円計上
Q4に訴訟関連費用を計上したため、Q3想定時から約60億円増加
- FY26予想：一時費用の一巡により、対前年で大幅に減少 → **FY26では、100億円超の増益要因**

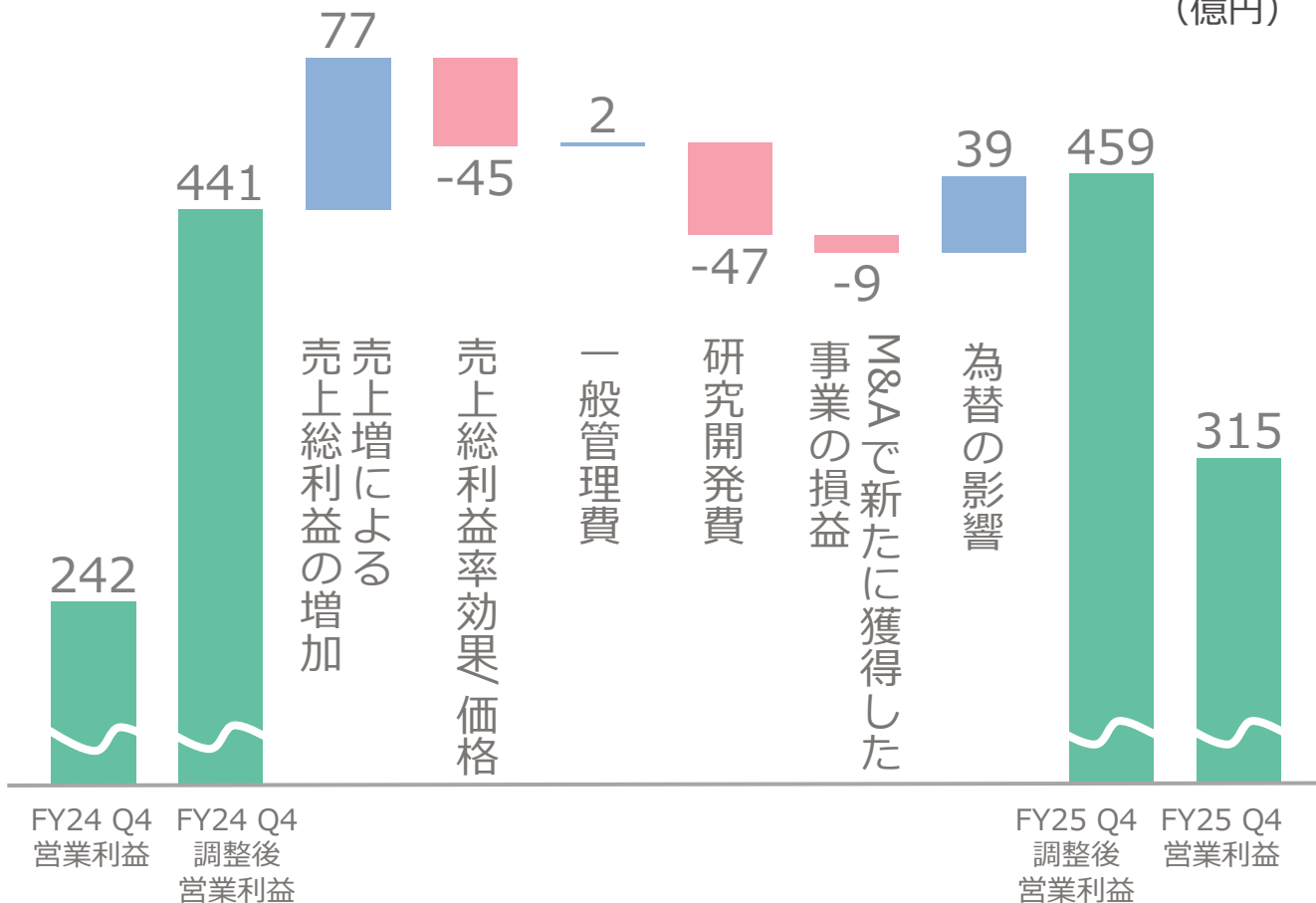
(億円)

	FY25 Q3時点の予想	FY25 実績	FY25 予想と 実績の差	FY26 予想
買収関連の償却費（既存の償却費）	-213	-217	-4	-220
OrganOx買収関連	-99	-101	-2	-150*
独占販売権の契約見直し	-78	-78		(*うち80億円はFY26まで計上)
製薬会社からの損失補償	37	43	+6	
事業再編費用	-64	-73	-9	
訴訟関連費用		-55	-55	
その他	-12	-7		
合計	-429	-488		-370

FY26では、100億円超の増益を見込む

営業利益増減分析 (Q4) : 好調な売上により増益

(億円)



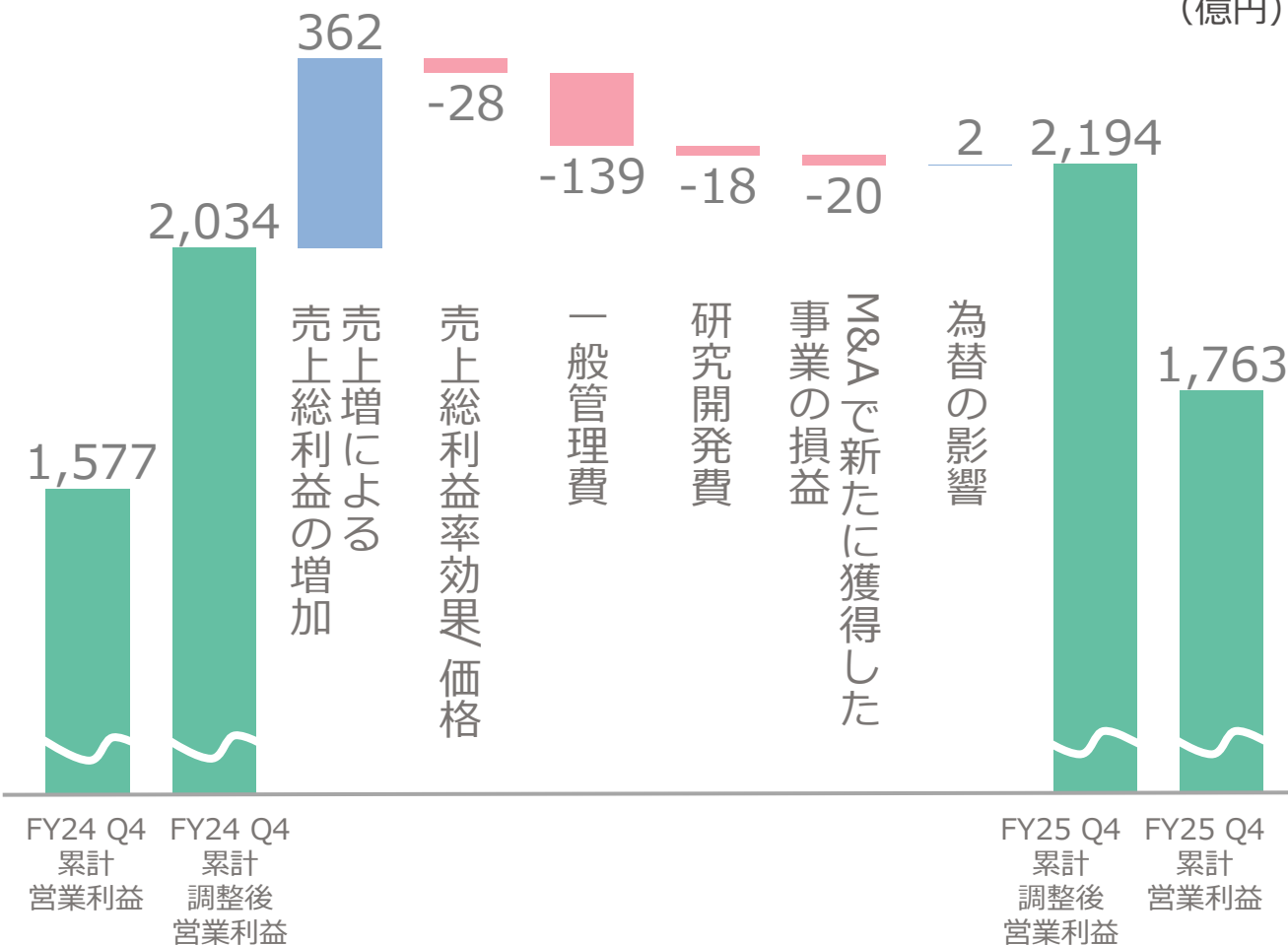
- 売上増による売上総利益の増加：
TISとGBSが全体を牽引
- 売上総利益率効果/価格：
価格政策によるプラス効果の一方、関税影響と一部プロジェクトの中止に伴う減損を計上
(主な内訳) 価格 +31億円、関税影響 -50億円、プロジェクト中止に伴う減損 -22億円
- 研究開発費：
資産化R&Dの減損を計上
- M&Aで新たに獲得した事業の損益：
レバークーゼン工場の損益 -20億円
オーガンテクノロジーズ事業の損益 +11億円
- 為替の影響：
フロー +54億円、ストック -15億円

期中平均レート (USD/EUR) 153円/161円

157円/184円

営業利益増減分析 (Q4累計) : 好調な売上と価格政策が貢献

(億円)



- 売上増による売上総利益の増加 : TISとGBSが全体を牽引
- 売上総利益率効果/価格 : C&Vを中心に価格政策が大きく寄与
一方、関税影響や一部プロジェクトの中止に伴う減損を計上し、対前年ではマイナス
(主な内訳) 価格 +146億円、関税影響 -121億円
- 一般管理費 : 事業拡大に伴う増加
- 研究開発費 : 資産化R&Dの減損を計上
- M&Aで新たに獲得した事業の損益 : レバークーゼン工場の損益 -37億円
オーガンテクノロジーズ事業の損益 +17億円
- 為替の影響 : フロー +49億円、ストック -47億円

期中平均レート (USD/EUR) 153円/164円

151円/175円

C&V：北米を中心にTISが全体を牽引、ニューロも伸長

(C&V：心臓血管)

(億円)

	Q4			Q4累計			コメント	Q4累計 売上増減	
売上収益	() 内は為替影響除く						TIS インターベンシ ナルシステムズ	: 北米は為替影響を除いて二桁伸長を継続、 物量増加に加えて価格政策が寄与	+372
							TN ニューロ	: 中国ではVBP（集中購買）で販路拡大し、 好調を継続。日本では脳動脈瘤の治療製 品群が好調に推移	+97
							TCV カーディオ バスキュラー	: 海外において伸長を達成。グローバルでの価 格見直しによる効果も寄与	+27
調整後 営業利益	1,480	1,602	1,797	5,557	6,244	6,764	TA アオルティック	: 人工血管製品群の供給問題の影響がある ものの、ハイブリッド製品が寄与	+25
			12%			8% (7%)			
利益率	319	368	347	1,239	1,547	1,640	利益	: 増収と価格政策により増益を達成	
			-6%			6% (8%)			
	FY23	FY24	FY25	FY23	FY24	FY25			
	22%	23%	19%	22%	25%	24%			

TMCS : PSの売上増が貢献し、増収増益*

(TMCS : メディカルケアソリューションズ)

(億円)

	Q4	Q4累計	コメント	Q4累計 売上増減
売上収益	() 内は為替影響除く			
	503	2,112	HCS ホスピタルケア ソリューション : 国内は価格政策が順調に進捗するも、事業譲渡と一部製品の供給問題を主因に減収、アジアで一部代理店への在庫積み増しがあり増収	+9
調整後 営業利益	38	230	LCS ライフケア ソリューション : 国内はSMBG (血糖自己測定) 市場の縮小に伴い減収。海外はアジアを中心に計画通りの進捗	-6
	38	252	PS ファーマシューティ カルソリューション : 日本におけるCDMO事業で増収。海外では欧米のPLAJEXが好調	+47
利益率	8%	12%	利益 : 価格政策の効果、費用コントロールにより増益	

*レバークーゼン工場の損益を除いて算出
レバークーゼン工場の損益を含めた調整後営業利益は以下の通り

Q4 : 18億円 (利益率 3%)
Q4累計 : 216億円 (利益率 10%)

TBCT：血漿イノベーション含むGBSが売上を牽引

(TBCT：血液・細胞テクノロジー)

(億円)

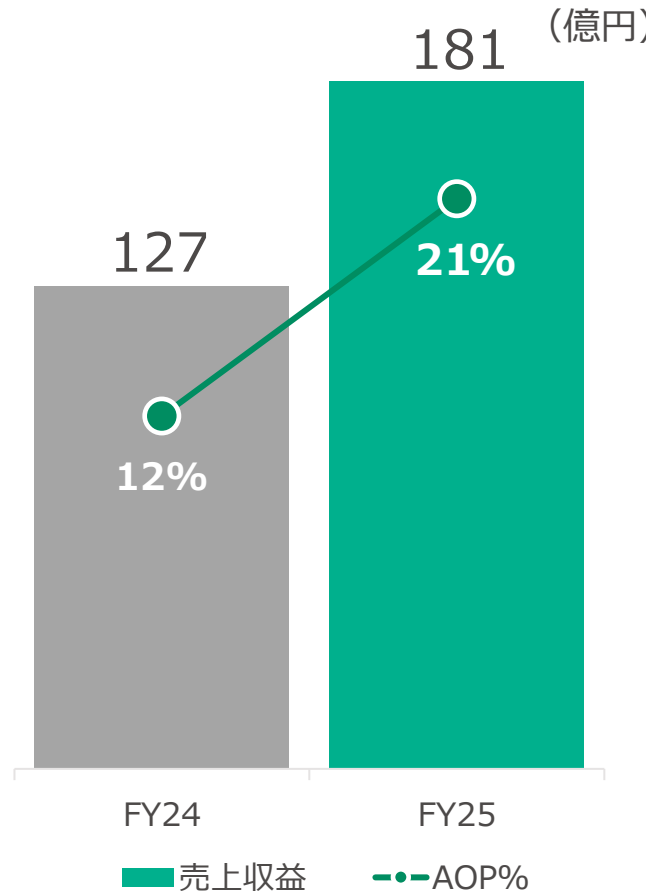
	Q4			Q4累計			コメント	Q4累計 売上増減
売上収益	()内は為替影響除く						GBS グローバル ブラッド ソリューション GTI グローバル セラピー イノベーション	: 北米で好調なReveos（血液自動製剤システム）の売上に加えて、Rika（原料血漿採取システム）が大幅に増収。アジアでReveosのテnderを獲得したことも増収に貢献 : 欧米を中心に、細胞・遺伝子治療に伴う細胞採取の需要拡大に加えて、装置の切り替え需要が継続
	405	521	625	1,683	2,003	2,310		
調整後 営業利益	25	67	84	164	265	336	利益 : Rikaの売上増加による収益性改善等が寄与し増益	
26%	27%	23%						
利益率	6%	13%	13%	10%	13%	15%		

オーガンテクノロジーズ：肝移植の増加とシェア拡大による急速な売上成長

Q4	Q4累計	コメント
----	------	------

売上収益：
51億円

調整後営業利益：
11億円



売上収益：

前年比**+48%***の伸長

- 肝臓移植件数の増加と顧客基盤の拡大により売上伸長を継続

*為替影響除く伸長率

調整後営業利益：

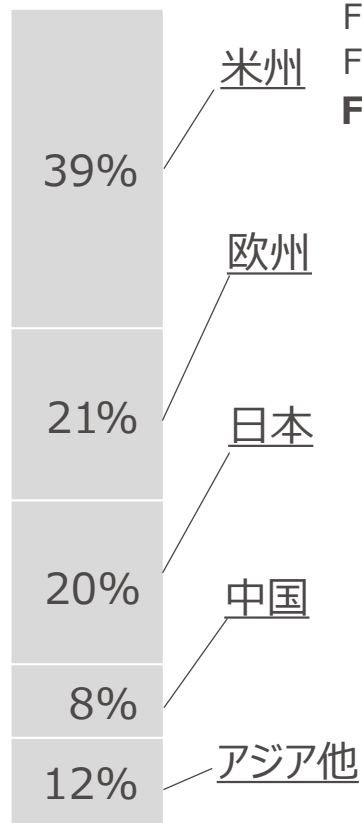
21%と高収益モデルを確立

- 売上伸長による大幅増益
- FY26以降も高収益・更なる収益向上を見込む

※2025年10月29日付でOrganOx社の全株式を取得し、完全子会社化したことに伴い、取得日以降の業績を連結業績として開示

地域別売上収益：米州が力強く全体を牽引

FY25 Q4累計
地域構成比



売上収益 (億円)		FY25 Q4累計 増減率	コメント	
Q4累計		Q4	() 内は為替影響除く	
FY23	3,280	898	12% (14%)	全カンパニーで堅調な需要が継続。TIS、PS、GBSがそれぞれドライバーとなり、為替除きで二桁伸長を継続
FY24	3,957	1,051		
FY25	4,434	1,205		
	1,915	525	11% (5%)	C&VではTISとTNが安定した成長を継続。TMCSではPSが増収
	2,183	590		
2,427	674			
	2,111	524	2%	C&Vでは、特にTNが二桁伸長継続で牽引。TMCSは事業譲渡や一部製品の供給問題を主因にHCSが減収、PSは増収
	2,172	523		
2,226	541			
	794	194	7% (7%)	C&VではTNがVBPによる販路拡大で成長を継続、TAは供給制限や関税影響等で減収
	850	185		
913	223			
	1,118	249	10% (12%)	C&Vは各セグメントの需要拡大により二桁伸長。GBSでは大型テンドー獲得が寄与し増収
	1,201	290		
1,319	360			

FY26業績予想について

FY26業績予想

■ 売上収益、利益の両面で過去最高を見込む（GS26の財務目標も達成見込み）

前提条件

- 中東情勢等に起因する原材料コスト上昇 : 現時点で把握している範囲で織り込み
- 米国関税（通商法第122条） : 7月末まで10%、以降15%を前提に織り込み

金額（億円）	FY25実績	FY26業績予想	増減率	為替除く増減率
売上収益	11,319	12,390	9%	8%
営業利益（営業利益率）	1,763 (15.6%)	2,245 (18.1%)	27%	20%
調整後営業利益（調整後営業利益率）	2,194 (19.4%)	2,615 (21.1%)	19%	12%
当期利益	1,359	1,653	22%	
ROIC	7.5%	8.2%		
ROE	9.2%	10.2%		
為替レート(USD/EUR)	151円/175円	155円/180円		

FY25実施のM&Aを除いた場合

営業利益（営業利益率）	1,847 (16.4%)	2,425 (20.0%)	31%	24%
ROIC	8.5%	10.0%		

FY26業績予想（カンパニー別）

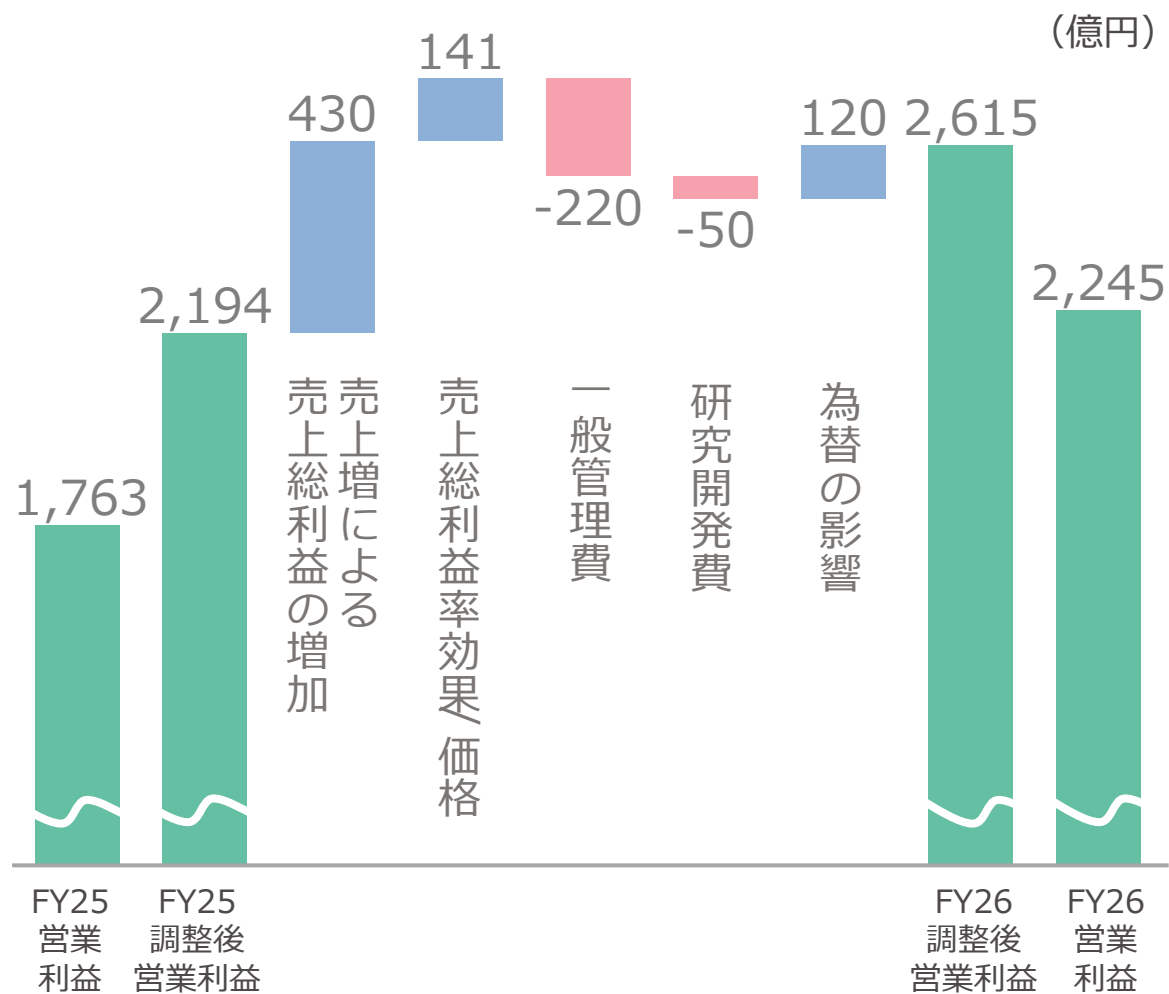
- 売上収益：全カンパニーで一桁後半の成長に加え、オーガンテクノロジーズ事業（OT）も貢献
- 営業利益：オペレーション改善、新商品導入等により全カンパニーで売上以上の利益伸長

FY26業績予想 カンパニー別（億円）	売上収益			調整後営業利益		調整後 営業利益率
	金額	増減率	為替除く増減率	金額	増減率	
C&V	7,340	8%	6%	1,960	20%	27%
TMCS	2,343	8%	8%	244	13%	10%
TMCS（レバークーゼン除く）	2,340	8%	8%	330	29%	14%
TBCT	2,450	6%	5%	385	15%	16%
OT*	255	-	-	51	-	20%

（C&V：心臓血管、TMCS：メディカルケアソリューションズ、TBCT：血液・細胞テクノロジー、OT：オーガンテクノロジーズ）

*OTは2025年10月に買収を完了したOrganOx社の事業であり、前年比較ができないため増減率は記載していません。

FY26業績予想 利益増減要因



■ 売上増による売上総利益の増加：
全カンパニーでの成長継続に加え、オーガンテクノロジーズ事業の成長も貢献

■ 売上総利益率効果/価格：
関税と原材料上昇の影響を見込む一方、価格改定や前年の一時費用の剥落等で、プラスに寄与

- 価格 +100億円
- 一時費用の剥落と事業再編によるコスト減 +75億円
- 関税影響 -45億円
- 原材料上昇の影響 -25億円

■ 一般管理費：
事業拡大に伴う増加

今後の製品・地域展開

■ FY26以降も、成長領域でのリソース投下や新製品の販売拡大で、成長機会の創出を継続

C&V

Kanshas (日本)
R2P対応/ペリフェラル治療

TR Band Distal (日本、欧州)
遠位橈骨動脈用止血デバイス

Glidewire Advantage (米国)
末梢血管向けガイドワイヤー
従来シリーズの進化版 (R2P/静脈対応)

Dual Sensor System (米国、日本)
イメージング

WEB (グローバル)
脳動脈瘤治療用デバイス

Glidewire GT-R (米国)
IVR向けガイドワイヤー
従来シリーズの進化版

SOFIA 88 (グローバル)
脳卒中治療向け大口径カテーテル

CDI OneView (グローバル)
従来CDIシリーズの進化版

Fenestrated TREO (米国)
腹部大動脈ステントグラフト

ThoracoFlo
胸腹部大動脈瘤向け
ハイブリッド型人工血管

RapidLink
大動脈弓手術における
新デバイス

TMCS

投薬管理ソリューション

ポンプを起点にデジタルを融合したソリューションの拡大

内製化CSTD
CSTD (閉鎖式薬物移送システム)の内製化

10秒体温計

海外展開
北米・アジア・欧州にて、新製品の販売拡大

CDMO事業の拡大

PLAJEXの拡大

TBCT

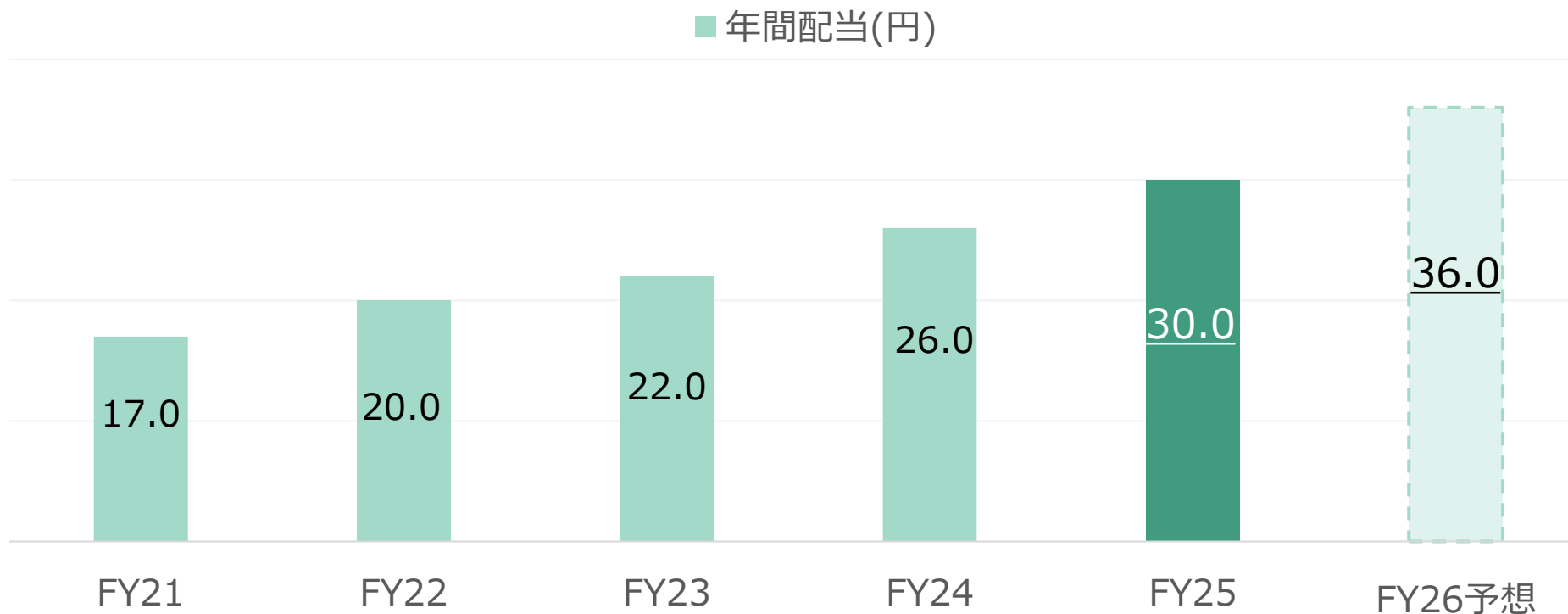
地域拡大の加速

オペレーショナルエクセレンスの向上
AI能力の構築、自動化によるインフラ向上

Reveos
血液自動製剤システム
新たな地域へ展開

配当案：還元方針に基づき増配継続

■ 還元方針：安定増配を継続、増配幅は着実に増加



FY21～FY23の一株当たり配当額は2024年4月1日の発行済み株式数に合わせて補正

配当性向	FY21	FY22	FY23	FY24	FY25	FY26予想
	29%	34%	31%	33%	33%	32%

参考資料

P&L (四半期推移)

(億円)

	FY24 Q4 (1-3月)	FY25 Q1 (4-6月)	Q2 (7-9月)	Q3 (10-12月)	Q4 (1-3月)
売上収益	2,639	2,600	2,750	2,966	3,003
売上総利益	1,385 (52.5%)	1,455 (56.0%)	1,470 (53.5%)	1,532 (51.6%)	1,490 (49.6%)
一般管理費	818 (31.0%)	755 (29.1%)	808 (29.4%)	869 (29.3%)	898 (29.9%)
研究開発費	188 (7.1%)	164 (6.3%)	171 (6.2%)	183 (6.2%)	251 (8.3%)
その他収益費用	-138	24	-40	-40	-28
営業利益	242 (9.2%)	559 (21.5%)	451 (16.4%)	439 (14.8%)	315 (10.5%)
調整後営業利益	441 (16.7%)	591 (22.7%)	553 (20.1%)	591 (19.9%)	459 (15.3%)
四半期 平均レート	USD : 153円 EUR : 161円	USD : 145円 EUR : 164円	USD : 147円 EUR : 172円	USD : 154円 EUR : 179円	USD : 157円 EUR : 184円

販管費（四半期推移）

(億円)

		FY24 Q4 (1-3月)	FY25 Q1 (4-6月)	Q2 (7-9月)	Q3 (10-12月)	Q4 (1-3月)
人件費		430	406	421	447	468
販促費		60	55	53	61	62
物流費		57	57	59	58	58
償却費		71	68	70	76	76
その他		200	169	205	228	233
一般管理費 (売上比率)		818 (31.0%)	755 (29.1%)	808 (29.4%)	869 (29.3%)	898 (29.9%)
研究開発費 (売上比率)		188 (7.1%)	164 (6.3%)	171 (6.2%)	183 (6.2%)	251 (8.3%)
合計 (売上比率)		1,006 (38.1%)	920 (35.4%)	979 (35.6%)	1,053 (35.5%)	1,148 (38.2%)
四半期 平均レート	USD	153円	145円	147円	154円	157円
	EUR	161円	164円	172円	179円	184円

販管費（前年同期比）

(億円)

	FY24 Q4累計	FY25 Q4累計	増減	増減率	為替除く 増減率	FY24 Q4	FY25 Q4	増減	増減率
人件費	1,618	1,742	124	8%	7%	430	468	38	9%
販促費	213	231	19	9%	8%	60	62	3	5%
物流費	223	231	8	4%	3%	57	58	0	1%
償却費	279	291	12	4%	5%	71	76	5	7%
その他	742	835	93	13%	12%	200	233	34	17%
一般管理費	3,074	3,331	256	8%	8%	818	898	80	10%
(売上比率)	(29.7%)	(29.4%)				(31.0%)	(29.9%)		
研究開発費	742	769	27	4%	4%	188	251	63	33%
(売上比率)	(7.2%)	(6.8%)				(7.1%)	(8.3%)		
合計	3,816	4,099	283	7%	7%	1,006	1,148	142	14%
(売上比率)	(36.8%)	(36.2%)				(38.1%)	(38.2%)		

調整後営業利益：調整額

(億円)

	FY24 Q4累計	FY25 Q4累計	FY24 Q4	FY25 Q4
調整後営業利益	2,034	2,194	441	459
調整① 買収無形資産の償却費	-215	-242	-54	-71
調整② 一時的な損益	-242	-188	-146	-73
営業利益	1,577	1,763	242	315

※調整項目に含まれる費用・収益の例

- 買収関連費用
- 訴訟関連損益
- 減損損失
- 事業再編費用
- 損害保険収入
- 災害による損失
- その他一時的な損益

調整②「一時的な損益」の主な項目	FY24 Q4累計	FY25 Q4累計
事業再編費用	-75	-16
減損損失	-179	-
TBCT土地売却益	14	-
OrganOx関連費用	-	-36
OrganOx在庫ステップアップ費用化	-	-40
独占販売権の契約見直し（減損含む）	-	-78
訴訟関連費用	-	-55
製薬会社からの損失補償	-	43
その他	-2	-7

設備投資、償却費、研究開発費

(億円)

	FY22	FY23	FY24	FY25	FY26予想
設備投資	758	784	825	971	920
償却費	635	702	781	867	990
買収無形償却費	188	200	210	242	290
それ以外	447	502	571	625	700

設備投資は、建設仮勘定計上ベース・リース含まず、償却費はリース償却（IFRS16）含まず

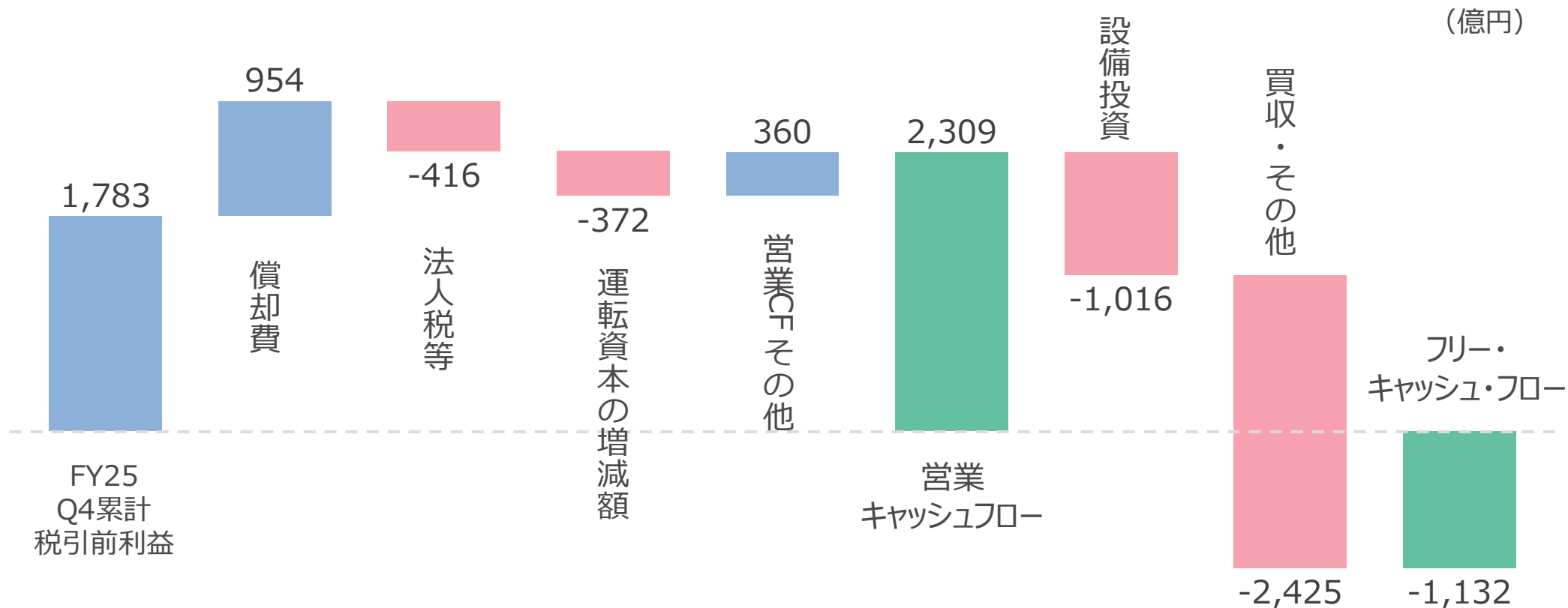
■ FY25（設備投資：971億円）

CDMO（開発製造受託）等生産体制強化のため甲府工場内の新棟建設他、原料血漿採取関連、R&D投資、基幹システム（SAP）等のIT投資を継続

	FY22	FY23	FY24	FY25	FY26予想
研究開発費	616	691	742	769	820

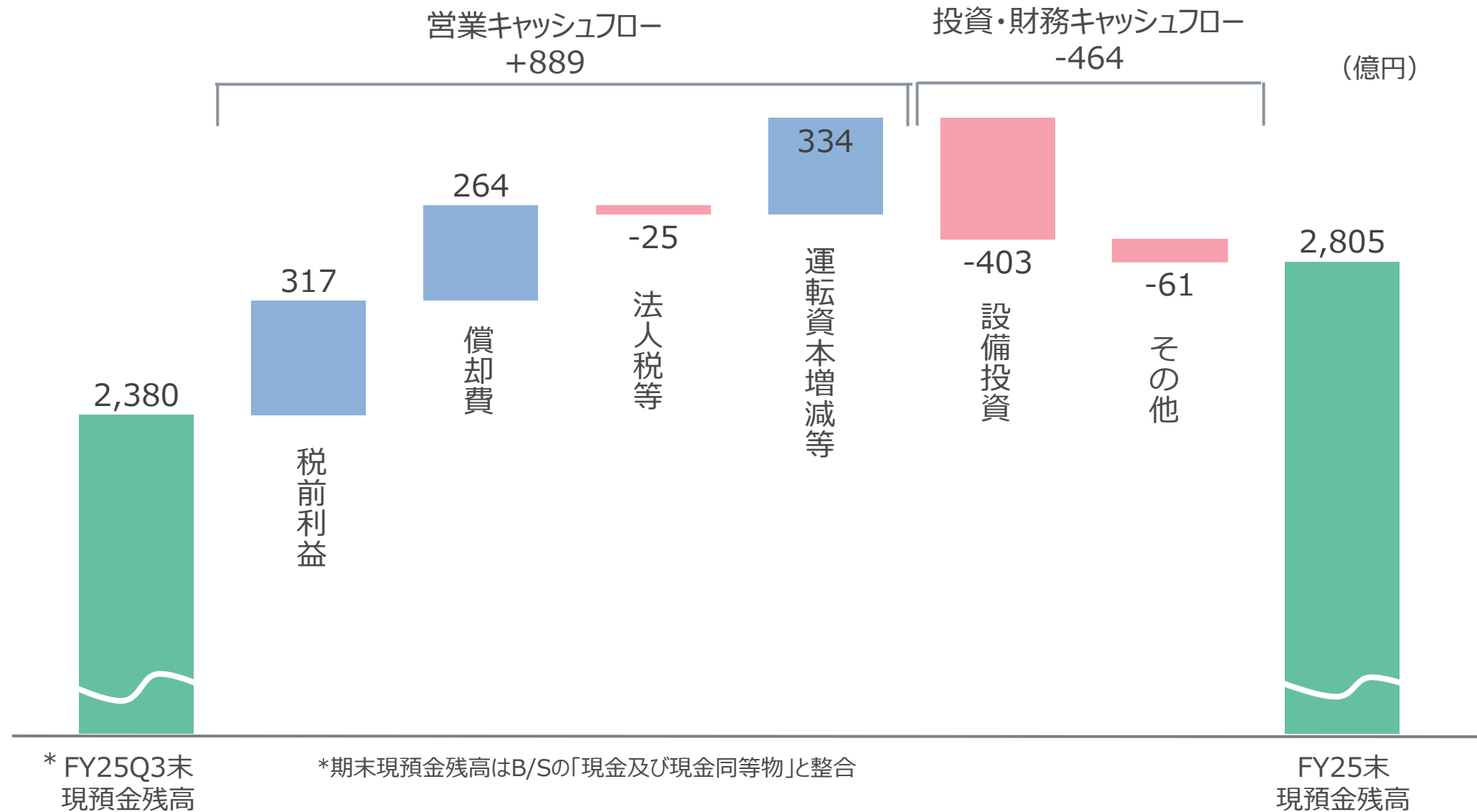
フリー・キャッシュ・フロー

(億円)



前年比	+237	+99	+97	-228	-4	+200	-218	-2,398	-2,416
-----	------	-----	-----	------	----	------	------	--------	--------

キャッシュフロー (Q4)

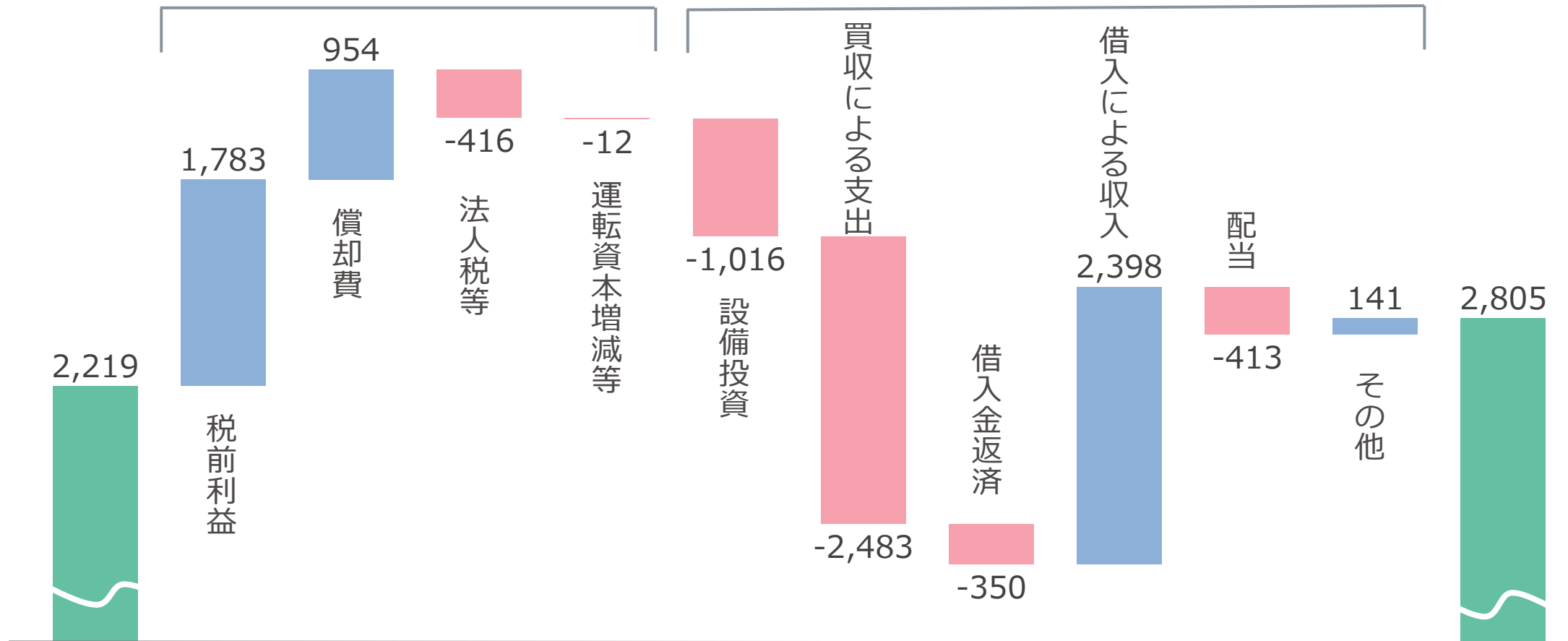


キャッシュフロー（Q4累計）

営業キャッシュフロー
+2,309

投資・財務キャッシュフロー
-1,722

(億円)



* FY24末
現預金残高

*期末現預金残高はB/Sの「現金及び現金同等物」と整合

FY25末
現預金残高

為替感応度

1円の円安に対する年間影響額（フロー） (億円)

	USD	EUR	中国元
売上収益	33	13	46
調整後営業利益	5	7	24

1円の円安に対する影響額（ストック） (億円)

	USD	EUR	中国元
調整後営業利益	-3.0	-1.0	-2.5

